

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 27 年度 第 2 回 (5 月) 理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 27 年 5 月 7 日 (木) 午後 6 時 30 分～7 時 45 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、久保田、栗本監事、柴監事、事務 (岩崎)
- ◇ 欠席者： 高田、井戸田、後藤
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告 (4 月分)

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

1) 日臨技定時総会

- ・ 2015 年 5 月 23 日 (土) 理事会
- ・ 2015 年 5 月 23 日 (土) 定時総会
- ・ 定款変更議案のため会員 3 分の 2 の承認が必要。

2) 第 65 回日本医学検査学会

- ・ 2015 年 5 月 16 日・17 日福岡で開催。担当佐賀県。

2. 事務局

〈総務部〉4 月 15 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 平成 27 年度定時総会について検討した。
- ・ 大臨技ホームページについて検討した。
- ・ 大臨技賛助会員について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 3 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉4 月 15 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 3 月度収支決算書を作成した。
- ・ 4 月分事務員給与及び事業費を送金した。
- ・ 平成 26 年度収支計算書案を作成した。

〈渉外部〉4 月 21 日 (火) に部会を開催した。

- ・ 子宮頸がん検診啓発活動について報告を行った。
- ・ 看護の日「記念行事」について進捗状況の報告を行った。
- ・ 今年度献血活動について討議を行った。
- ・ 昨年度の事業および決算の報告を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉4月16日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会及び会員交流会について、大筋の内容を地区事業部と検討した。

〈地区事業部〉4月16日（木）に部会を開催した。

- ・ マタニティカーニバル2015（平成27年5月30日（土）～31日（日）、場所：インテックス大阪）におけるボランティア応募が少ないため、積極的にお願いすることとした。
また、ポロシャツ55枚を追加発注することとした。
- ・ 会員交流会について、今年度は情報組織担当の新入会員研修会と合同で行う事とした。
日程：平成27年7月25日（土）14時受付開始（Ⅰ部14：30～16：00、Ⅱ部16：00～18：00）
場所：Ⅰ部：なんばOCAT4F難波市民学習センター講堂
Ⅱ部：なんばOCAT5Fアサヒビアレストラン
- ・ 地区責任者会は来年度からは「自由集会」の名称を無くし、「〇〇地区オープンセミナー」に統一する。

〈学術部〉4月28日（火）に部会を開催した。

- ・ 来年度会計に関して検討した。
- ・ ビデオカメラ購入の件に関して検討した。
- ・ 教育セミナーについて検討した。
- ・ 学会の件について検討した。

Ⅲ 他、報告

1. 都道府県技師会会員管理システムについて（吉本副会長）

- ・ 都道府県会員管理システムの老朽化対応および会員の一元管理等の基盤改善を目的とした新会員管理システムが6月29日より運用を開始することとなった。
- ・ 運用に先立ち、「都道府県技師会専用テストサイト」が4月25日（土）より稼働している。
- ・ 6月27日（土）・28日（日）は、サーバー移行作業のため都道府県システムの使用が不可となる。
- ・ 5月16日（土）に第64回日本医学検査学会の会場内で開催される「新会員管理システムの取扱説明会」に参加する。

2. 検体採取に関する大阪府からの通知について（吉本副会長）

- ・ 大阪府より平成27年4月23日付で、大臨技会長ならびに日本衛生検査所協会近畿支部長宛てに検体採取に関する通知書3通（医対第1212号～1214号）が届き、内容について報告した。

3. その他

- ・ 日臨技より平成27年度全国役員名簿の作成依頼（提出期限：5月29日）があった。

Ⅳ. 議 題

1. 平成27年度定時総会について（吉本副会長、辻 大臨技役員候補者選出委員長）

- ・ 平成27年度定時総会タイムスケジュールについて説明があった。
- ・ 平成27年度定時総会配布資料について説明があった。
- ・ 「第6号議案 平成27・28年度役員選任に関する件」に関し、大臨技役員候補者選出委員会の辻委員長から、平成27・28年度役員候補者の選出経緯および定時総会での提案内容について

て報告があった。

- 委任状は、現時点で 2,274 名分届いている。
2. 平成 26 年度事業報告について（吉本副会長）
 - 大臨技ニュース 5 月号に掲載する平成 26 年度事業報告は、柴監事監修による「大阪府提出分平成 26 年度事業報告書原稿」に基づき作成した。
 3. 平成 26 年度収支決算報告について（荒木常務理事）
 - 平成 26 年度収支決算報告があり、以下の柴監事からの提案も含め承認された。
 - 平成 26 年度公益事業比率は 67.1%であり、事業収支が黒字となったため、大阪府にその発牛理由と 27 年度公益事業に使用することを報告する。
 - 平成 26 年度決算報告書について、公益法人会計基準に公正妥当と認められない事項が散見されるため、早々に各部会計担当者を対象に会計に関する説明会を開催する。
 4. 大阪府提出用電子申請版事業報告について（柴監事、山田理事）
 - 平成 26 年度事業報告の電子申請は 5 月中に大阪府に提出する。
 - 大阪府提出用電子申請フォーマットを作成し、今後利用して行くこととする。
 5. 大臨技ホームページについて（栗本理事）
 - 新規大臨技ホームページは、CMS 化を導入し、各部の責任においてコンテンツの作成と管理を行うこととする。
 6. その他
 - 日臨技近畿支部長より、各学校に対し学生向けパンフレットの配布およびガイダンス説明の依頼があり承認された。7 月 11 日（土）に開催する近畿支部幹事会で提案する。
 - 平成 27 年度日臨技定時総会の委任状について、大臨府の会員の提出率が現在 7.85%と低いため、役員から自施設も含め会員に委任状提出のお願いをして行くこととした。

以上